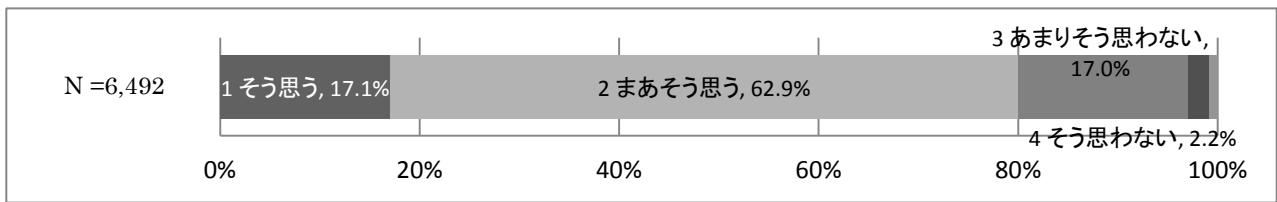


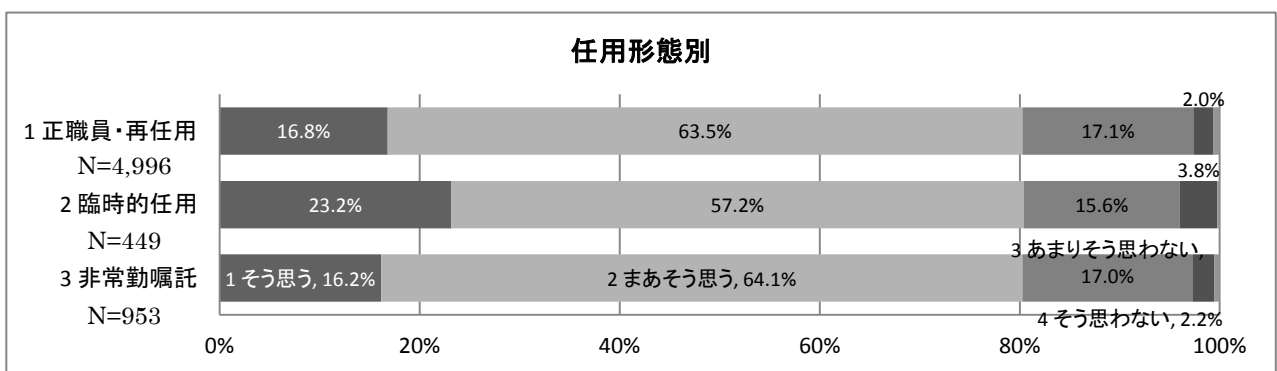
実践行動四： 私は、チーム力を高め、よりよい仕事をします。

Q16 あなたは、職場において自分の仕事についての情報共有が十分にできていると思いますか？

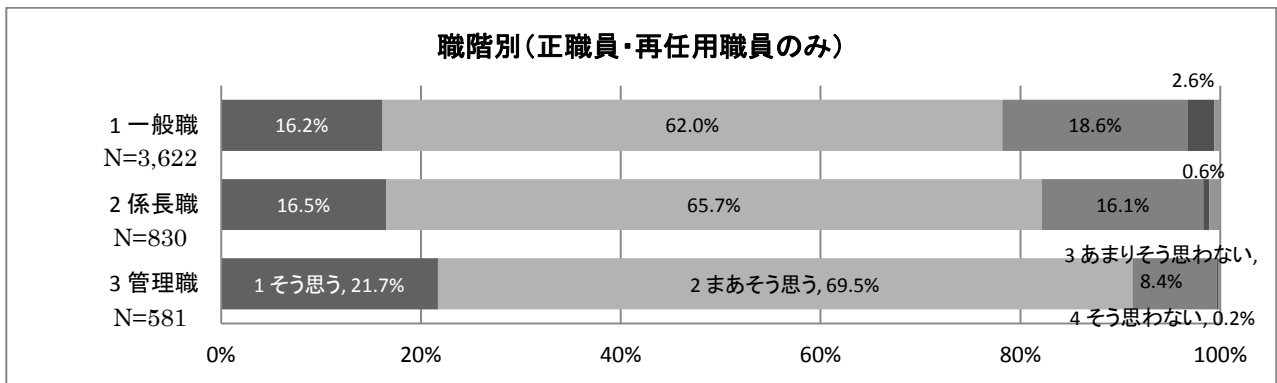


全体では、「まあそう思う」(62.9%)が最も多く、「そう思う」(17.1%)と合わせた80.0%の職員が、肯定的回答であった。

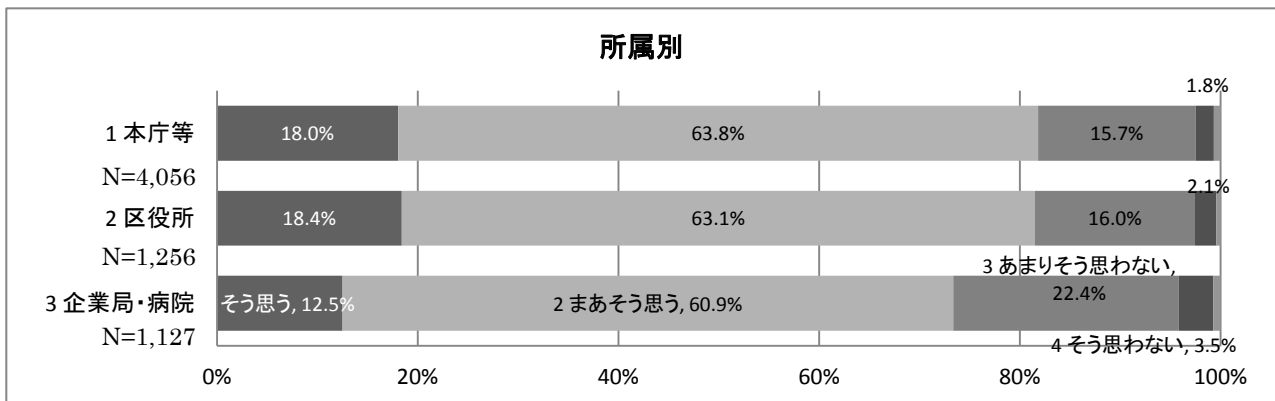
一方で、「あまりそう思わない」(17.0%)と「そう思わない」(2.2%)を合わせた19.2%の職員は、職場において自分の仕事についての情報共有が十分にできていないという結果であった。



任用形態別では、大きな相違はないが、各任用形態とも2割弱の職員が否定的回答であった。

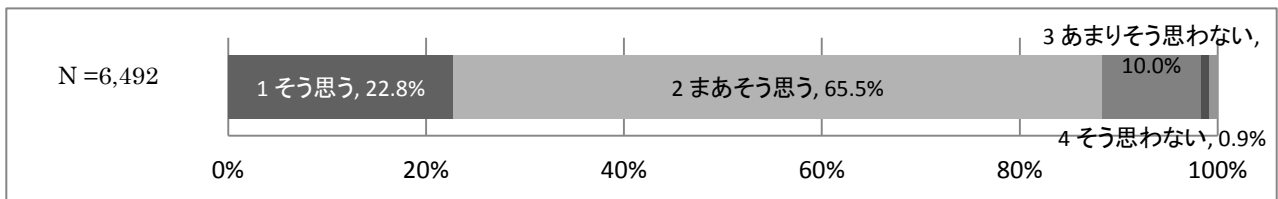


【正職員・再任用】について職階別に見ると、職階が上がるほど肯定的回答をする職員の割合が高くなった。否定的回答をした職員の割合は、【係長職】では16.7%、【一般職】では21.2%であった。



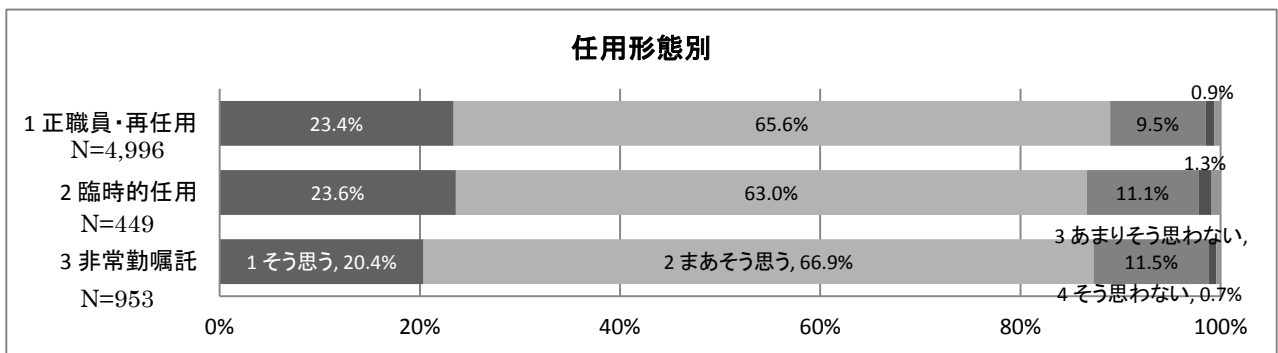
所属別では、各所属とも 15%以上の職員が否定的回答をしており、【企業局・病院】では 25.9%が否定的回答であった。

Q17 あなたは、職場で困っている人がいたら、手助けしたりアドバイスしたりすることができますか？

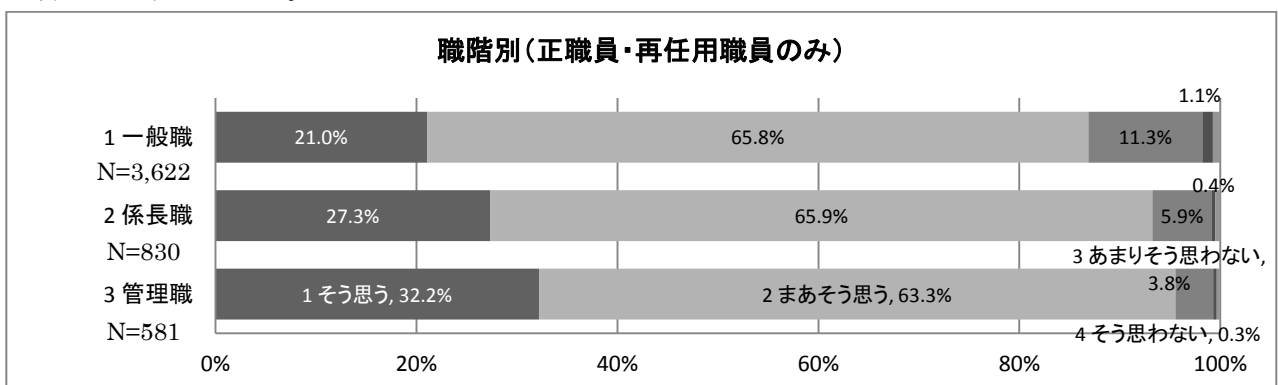


全体では、「まあそう思う」(65.5%)が最も多く、「そう思う」(22.8%)と合わせた88.3%の職員が、肯定的回答であった。

一方で、「あまりそう思わない」(10.0%)と「そう思わない」(0.9%)を合わせた10.9%の職員は、職場で困っている人がいたら手助けしたりアドバイスしたりすることができるとは思っていないという結果であった。



任用形態別では、大きな相違はないが、【臨時的任用職員】では12.4%、【非常勤嘱託職員】では12.2%が否定的回答であった。



【正職員・再任用】について職階別に見ると、職階が上がるほど肯定的回答をする職員の割合が高くなっている。【一般職】では12.4%が否定的回答であった。

Q8～17 4つの実践行動の達成状況

実践行動一	Q8	あなたは、仕事において、相手の立場に立って親身になって考えることができていると思いますか？	29.5%	65.2%	4.0%	0.3%	
	Q9	あなたは、仕事において、相手に対して、分かり易い言葉で十分な説明を行うことができていると思いますか？	18.8%	68.5%	11.2%	0.5%	★
	Q10	あなたは、仕事において、応対の際、マナーや服装などに気を配った行動ができていると思いますか？	30.1%	65.5%	3.2%	0.3%	
実践行動二	Q11	あなたは、漫然と前例を踏襲せず、法令等の根拠を確認して仕事をすることができていると思いますか？	20.5%	66.3%	11.6%	0.6%	★
	Q12	あなたは、公平・公正に職務を執行することができていると思いますか？	35.5%	60.9%	2.2%	0.3%	
	Q13	あなたは、公務内外を問わず、高い倫理観を持って行動することができていると思いますか？	23.6%	67.3%	7.4%	0.5%	
実践行動三	Q14	あなたは、法令等に基づいて、正確な仕事をする事ができていると思いますか？	20.9%	72.3%	5.3%	0.3%	
	Q15	あなたは、常に改善の意識を持って仕事に取り組むことができていると思いますか？	22.1%	63.5%	12.7%	0.6%	★
実践行動四	Q16	あなたは、職場において自分の仕事についての情報共有が十分にできていると思いますか？	17.1%	62.9%	17.0%	2.2%	★
	Q17	あなたは、職場で困っている人がいたら、手助けしたりアドバイスしたりすることができていると思いますか？	22.8%	65.5%	10.0%	0.9%	★

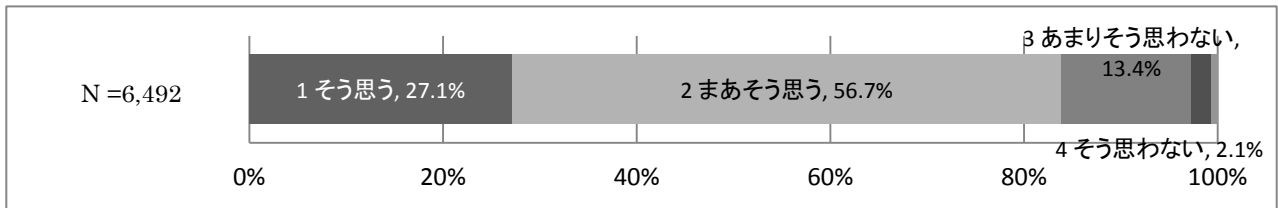
4つの実践行動の達成度をはかる Q8～Q17 の全結果は上のグラフのとおりである。

仕事において相手の立場に立って親身になって考えること (Q8)、仕事において応対の際マナーや服装などに気を配った行動をすること (Q10)、公平・公正に職務を執行すること (Q12)、公務内外を問わず高い倫理観を持って行動すること (Q13)、法令等に基づき正確な仕事をする事 (Q14) については、肯定的回答の割合が相対的に高く、良好又は概ね良好な状況と考えられる。

一方、相手に対して、分かり易い言葉で十分な説明を行うこと (Q9)、法令等の根拠を確認して仕事をすること (Q11)、常に改善の意識を持って仕事に取り組むこと (Q15)、自分の仕事について十分に情報共有を行うこと (Q16)、職場で困っている人に手助けしたりアドバイスしたりすること (Q17) については、否定的回答の割合が相対的に高く、課題が見られた。

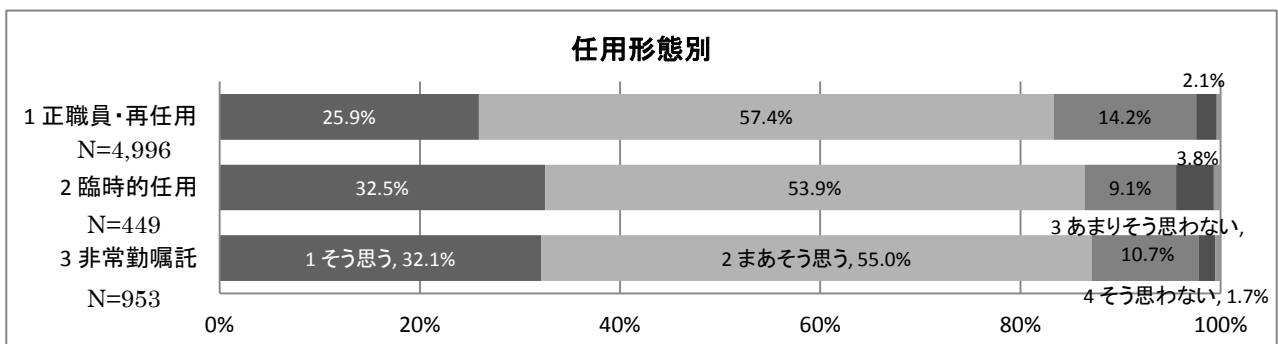
(3) 組織風土 (Q18~Q27)

Q18 あなたの職場は、仕事に対する意欲が高いと思いますか？

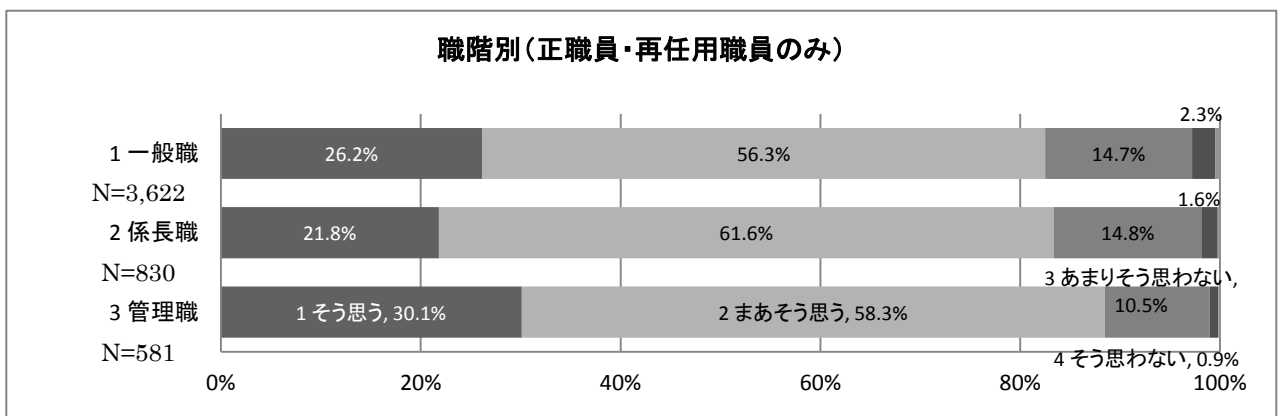


全体では、「まあそう思う」(56.7%)が最も多く、「そう思う」(27.1%)と合わせた83.8%の職員が、肯定的回答であった。

一方で、「あまりそう思わない」(13.4%)と「そう思わない」(2.1%)を合わせた15.5%の職員は、自分の職場は仕事に対する意欲が高いと思っていないという結果であった。

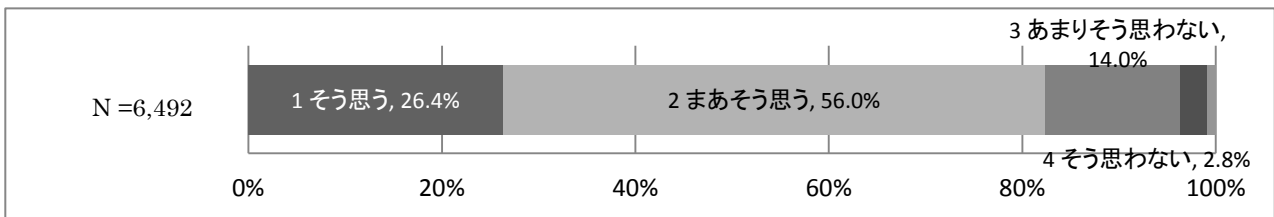


任用形態別では、【正職員・再任用】で16.3%が否定的回答であった。



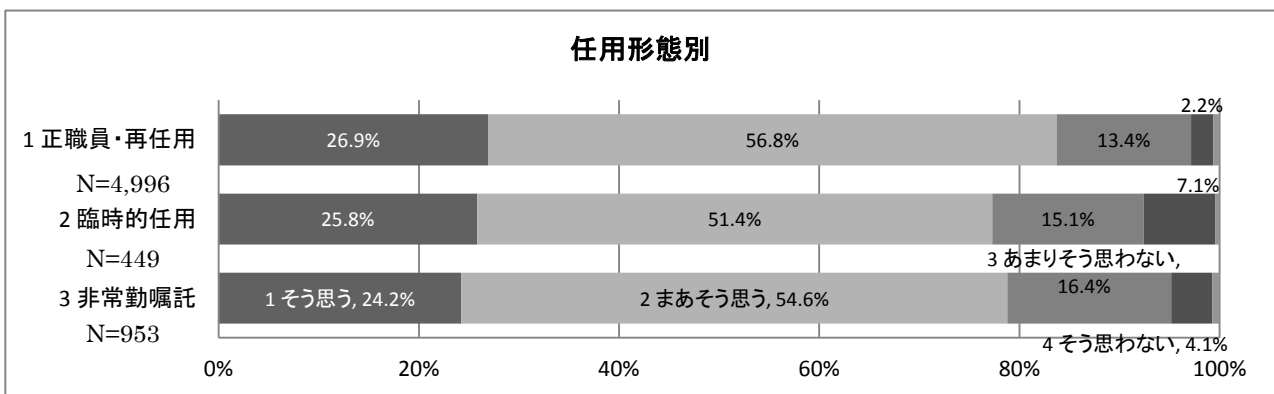
【正職員・再任用】について職階別に見ると、職階が上がるほど肯定的回答をする職員の割合が高くなっており、否定的回答をした職員の割合については、【係長職】では16.4%、【一般職】では17.0%であった。

Q19 あなたの職場は、お互いに意見を言い合うことができる職場ですか？

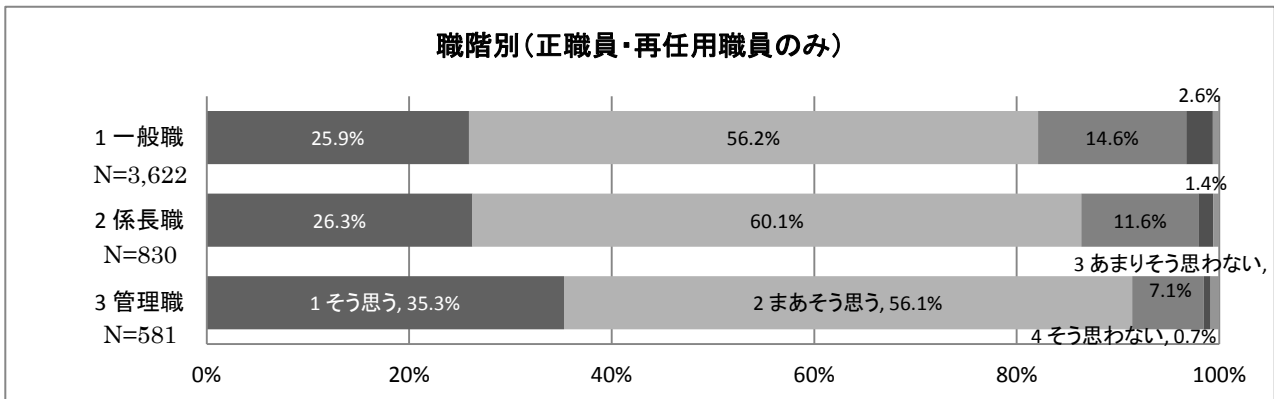


全体では、「まあと思う」(56.0%)が最も多く、「と思う」(26.4%)と合わせた82.4%の職員が、肯定的回答であった。

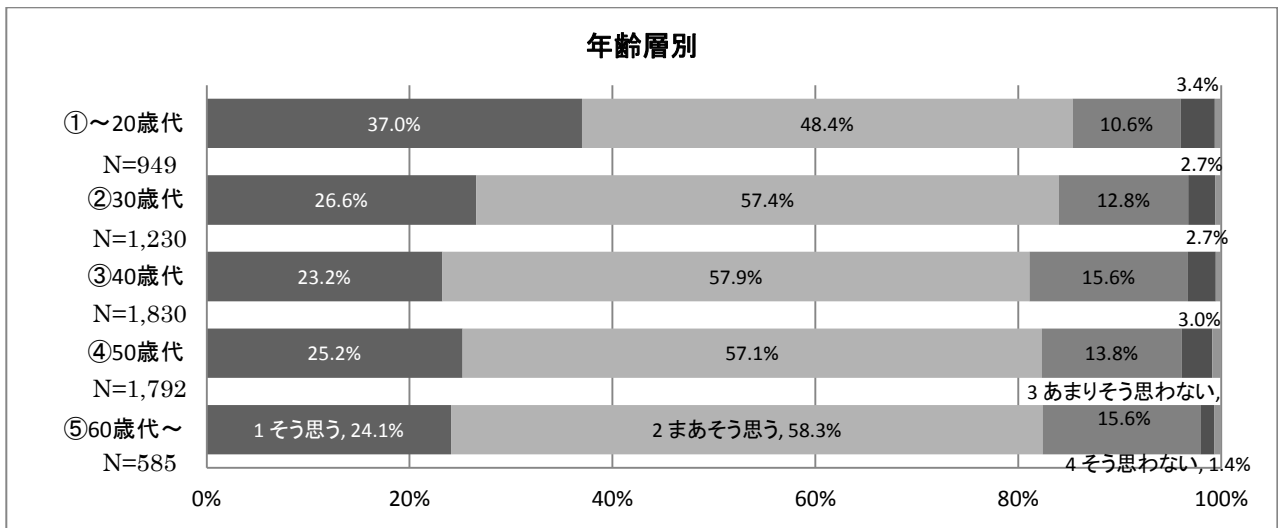
一方で、「あまりそう思わない」(14.0%)と「そう思わない」(2.8%)を合わせた16.8%の職員は、自分の職場はお互いに意見を言い合うことができる職場だと思っていないという結果であった。



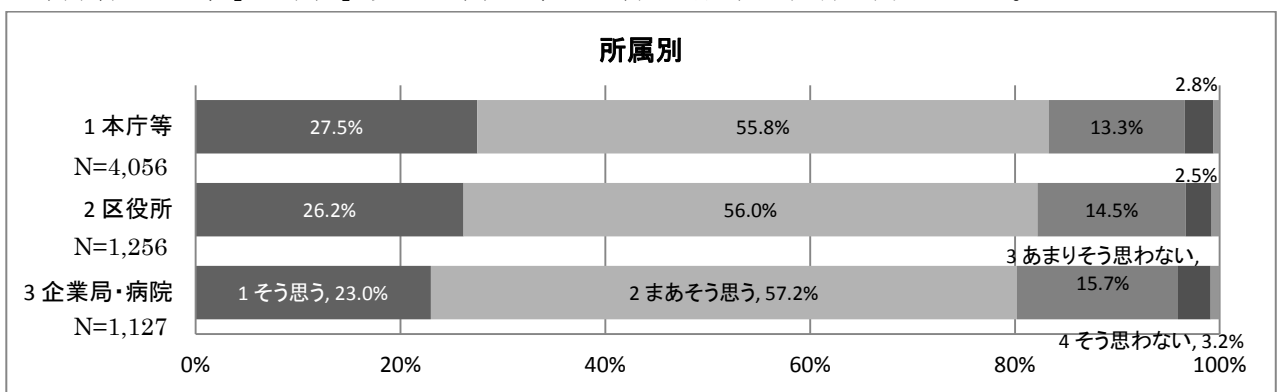
任用形態別では、各任用形態とも1割5分以上の職員が否定的回答をしており、【臨時的任用職員】では22.2%が、【非常勤嘱託職員】では20.5%が否定的回答であった。



【正職員・再任用】について職階別に見ると、職階が上がるほど肯定的回答をする職員の割合が高くなっている。【係長職】では13.0%、【一般職】では17.2%が否定的回答であった。

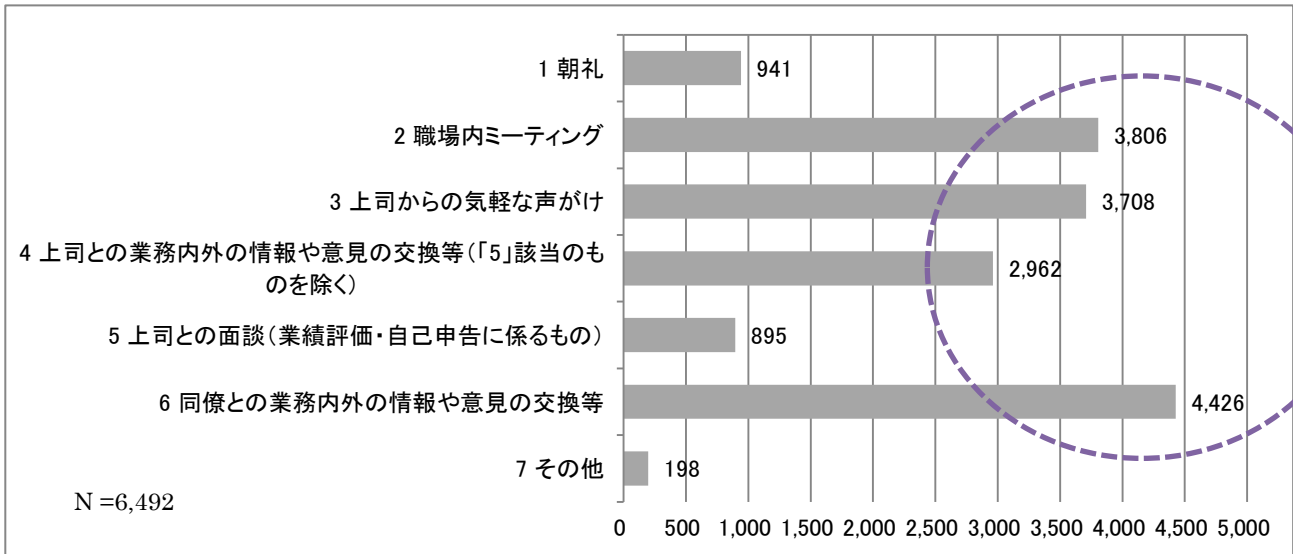


年齢層別では、【40歳代】以上の年代で、やや否定的回答の割合が高くなった。

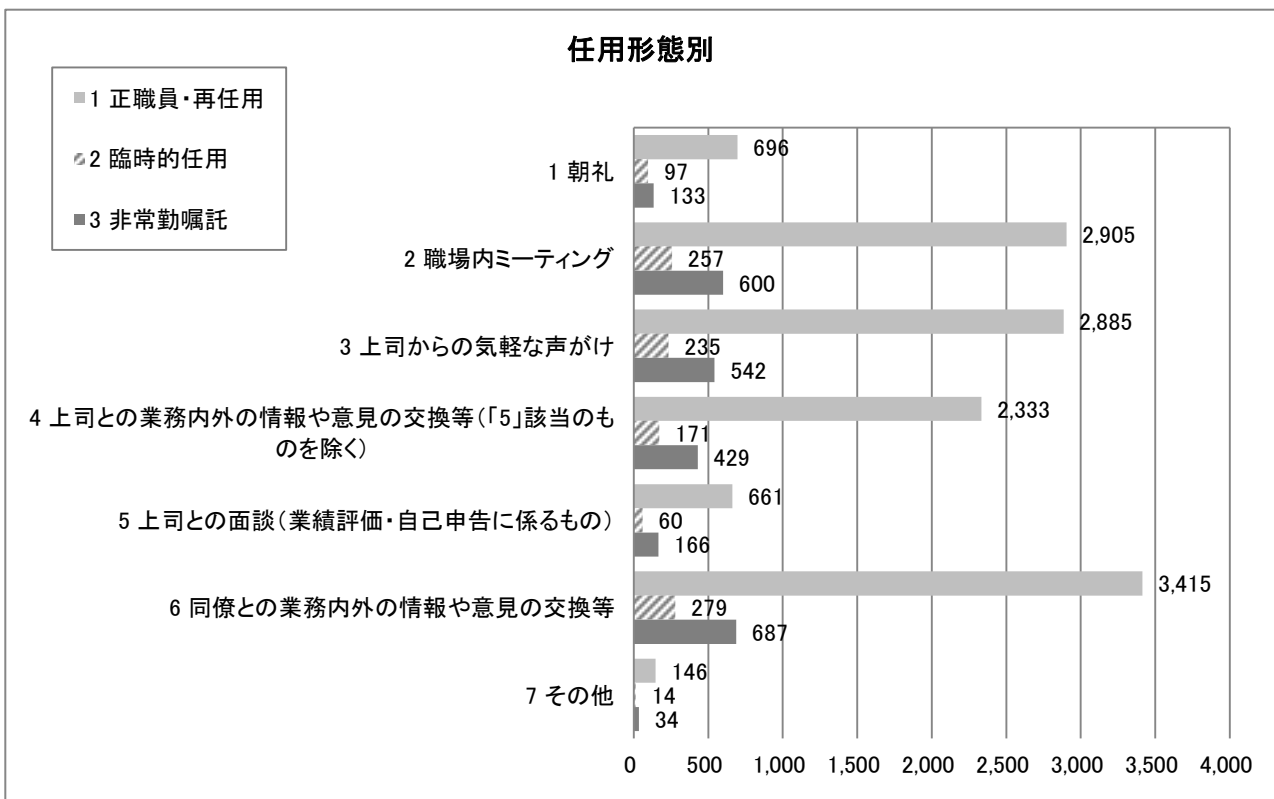


所属別では、各所属とも 15%以上の職員が否定的回答をしており、区役所と企業局・病院でやや割合が高かった。

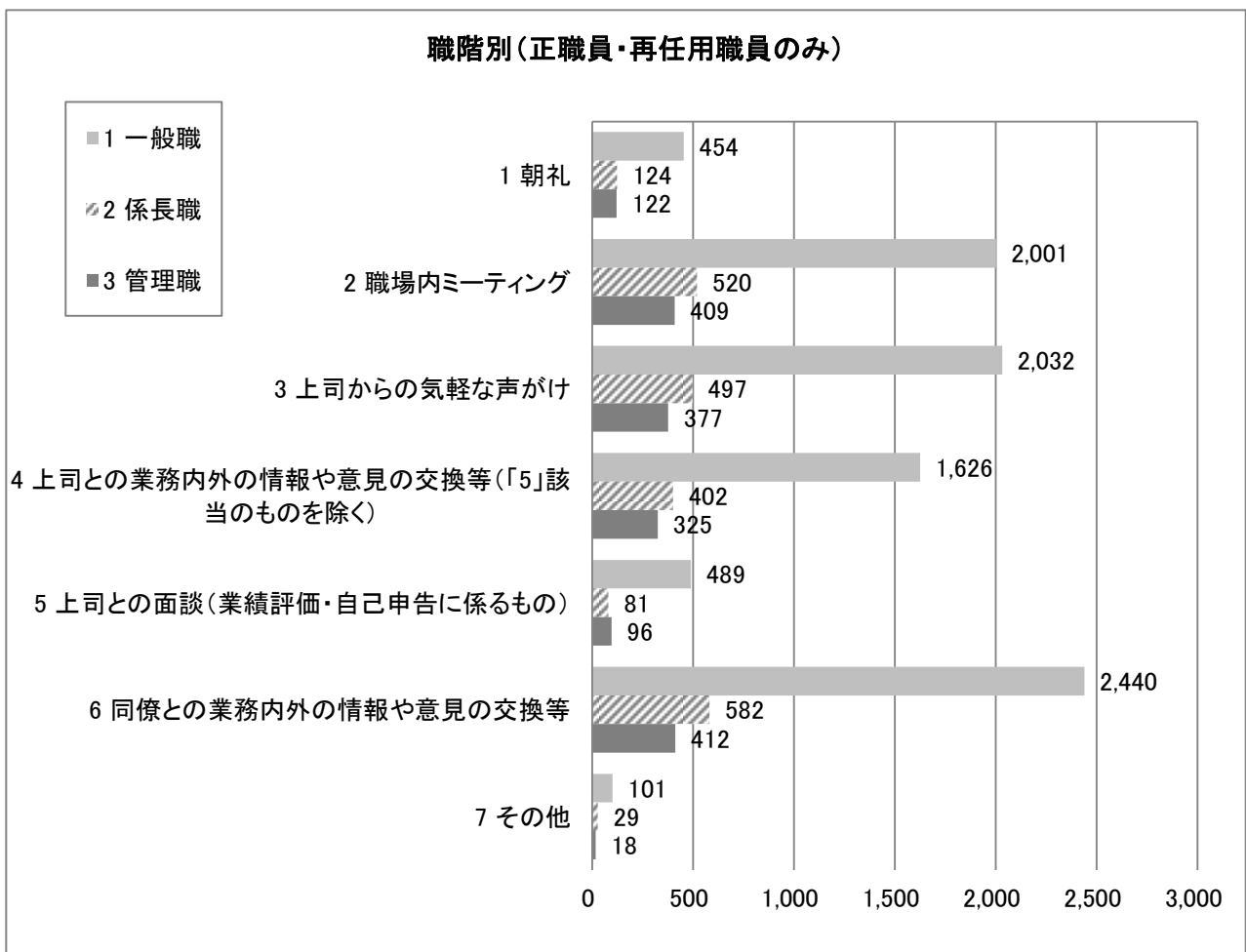
Q20 お互いに意見を言い合うことができる職場づくりに有効だと思う取り組み等はどのようなものですか？【複数回答可】



全体では、「6 同僚との業務内外の情報や意見の交換等」を選択する回答が 4,426 件と最も多く（有効回答数に占める割合：68.2%）、次いで「2 職場内ミーティング」（3,806 件／割合：58.6%）、「3 上司からの気軽な声かけ」（3,708 件／割合：57.1%）、「4 上司との業務内外の情報や意見の交換等」（2,962 件／割合：45.6%）の順で回答が多かった。



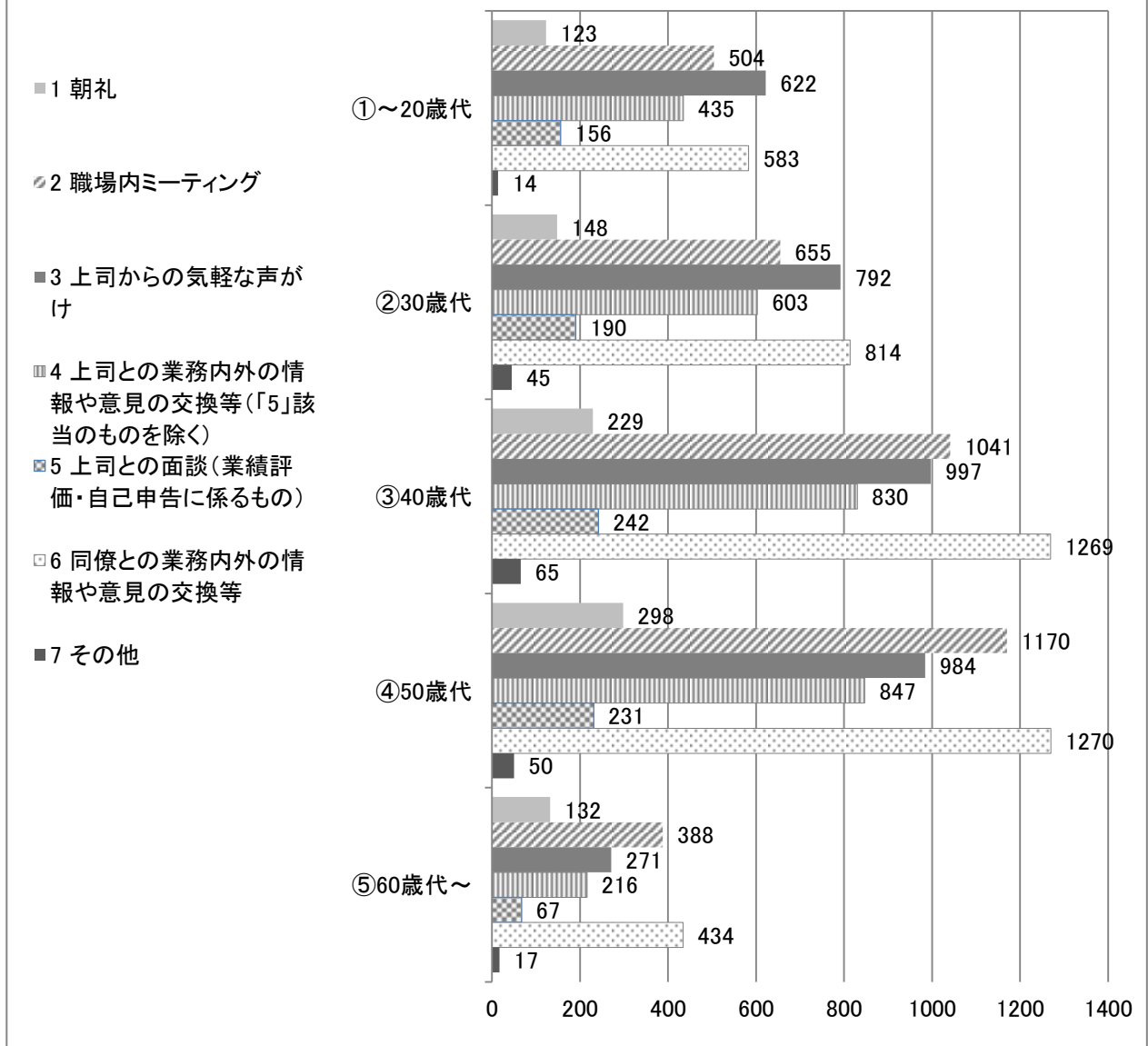
任用形態別に見ても、各任用形態とも、「6 同僚との業務内外の情報や意見の交換等」を選択する回答が最も多く、次いで「2 職場内ミーティング」、「3 上司からの気軽な声かけ」、「4 上司との業務内外の情報や意見の交換等」の順で回答が多かった。



【正職員・再任用】について職階別に見ると、【一般職】では、「6 同僚との業務内外の情報や意見の交換等」を選択する回答が最も多く、次いで「3 上司からの気軽な声かけ」、「2 職場内ミーティング」、「4 上司との業務内外の情報や意見の交換等」の順で回答が多かった。

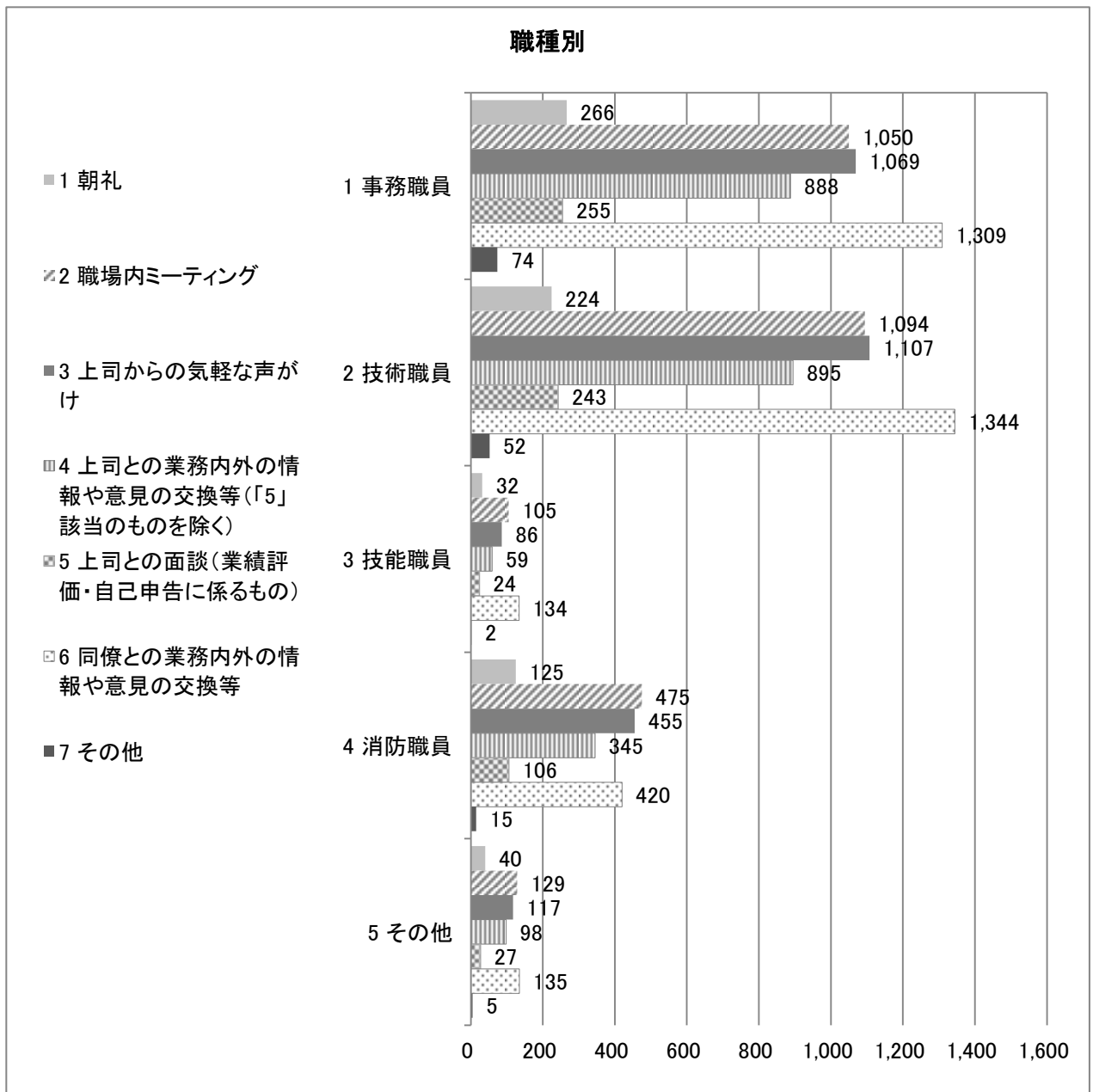
【係長職】【管理職】では、「6 同僚との業務内外の情報や意見の交換等」を選択する回答が最も多く、次いで「2 職場内ミーティング」、「3 上司からの気軽な声かけ」、「4 上司との業務内外の情報や意見の交換等」の順で回答が多かった。

年齢層別（層毎に表示）



年齢層別に見ると、【20歳代以下】の職員では、「3 上司からの気軽な声かけ」を選択する回答が最も多く、「2 職場内ミーティング」、「4 上司との業務内外の情報や意見の交換等」、「6 同僚との業務内外の情報や意見の交換等」が上位4位内であった。

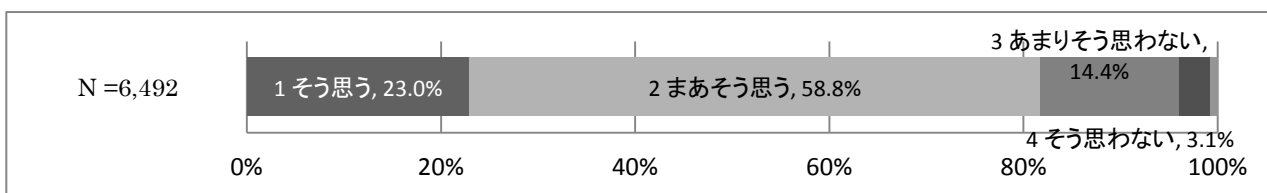
一方、【30歳代～60歳代】では、「6 同僚との業務内外の情報や意見の交換等」を選択する回答が最も多く、「2 職場内ミーティング」、「3 上司からの気軽な声かけ」、「4 上司との業務内外の情報や意見の交換等」が上位4位内であった。



職種別にみると、全ての職種で、「2 職場内ミーティング」、「3 上司からの気軽な声かけ」、「4 上司との業務内外の情報や意見の交換等」、「6 同僚との業務内外の情報や意見の交換等」を選択する回答が多く、それらが上位4位内であった。

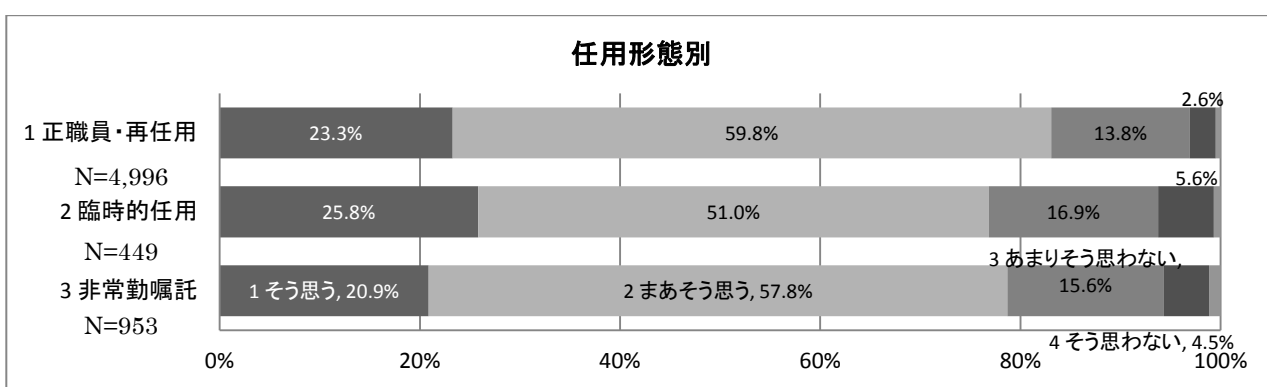
なお、選択肢「7 その他」の内訳としては、「柔軟で硬直的でない職場の雰囲気づくり」、「上司が聞く耳を持つこと、上司による職場環境への配慮」、「何気ない雑談やざっくばらんな会話」といった趣旨の記述が多かった。

Q21 あなたの職場は、仕事上の悩みや課題を相談しやすい職場ですか？

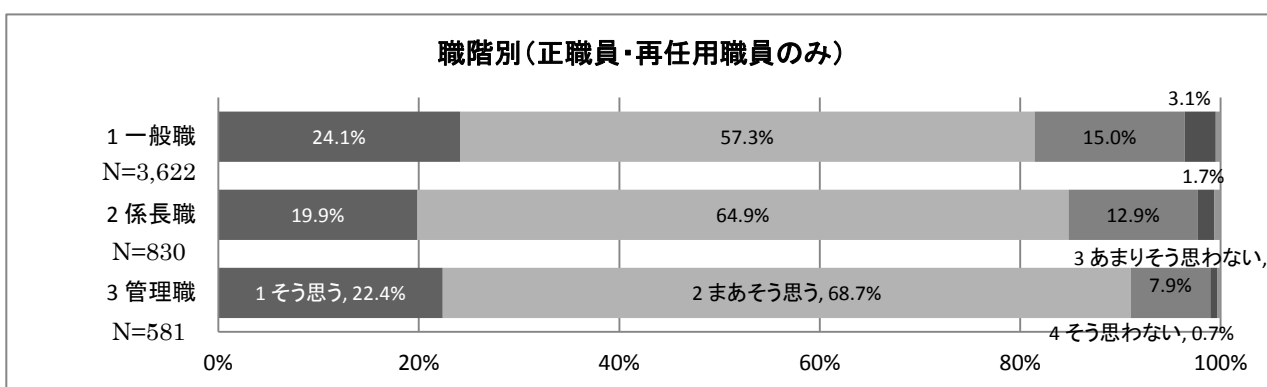


全体では、「まあそう思う」(58.8%)が最も多く、「そう思う」(23.0%)と合わせた81.8%の職員が肯定的回答であった。

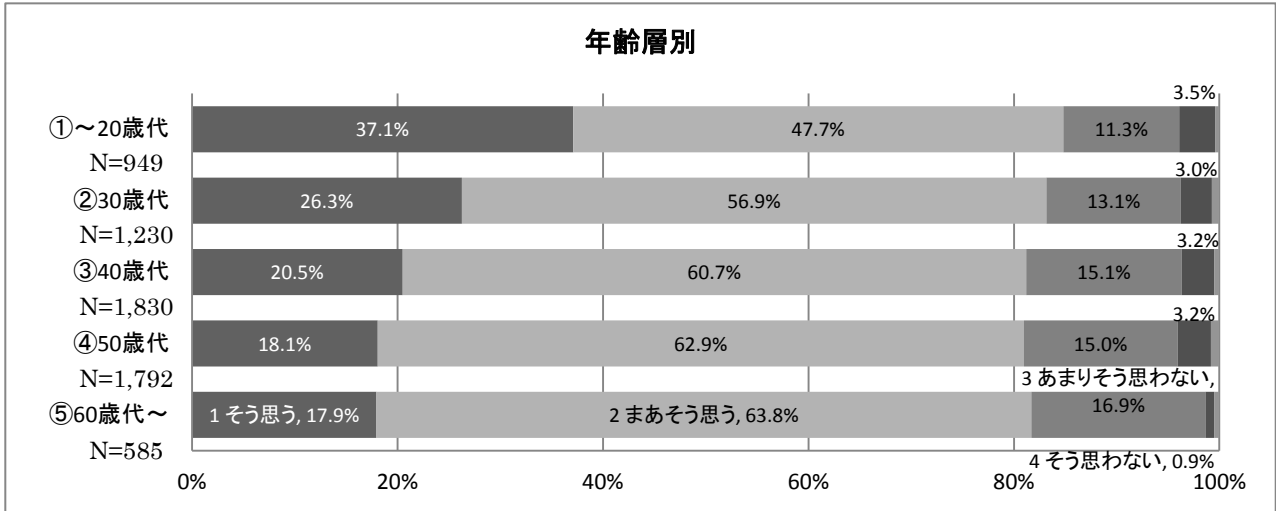
一方で、「あまりそう思わない」(14.4%)と「そう思わない」(3.1%)を合わせた17.5%の職員は、自分の職場は仕事上の悩みや課題を相談しやすい職場だと思っていないという結果であった。



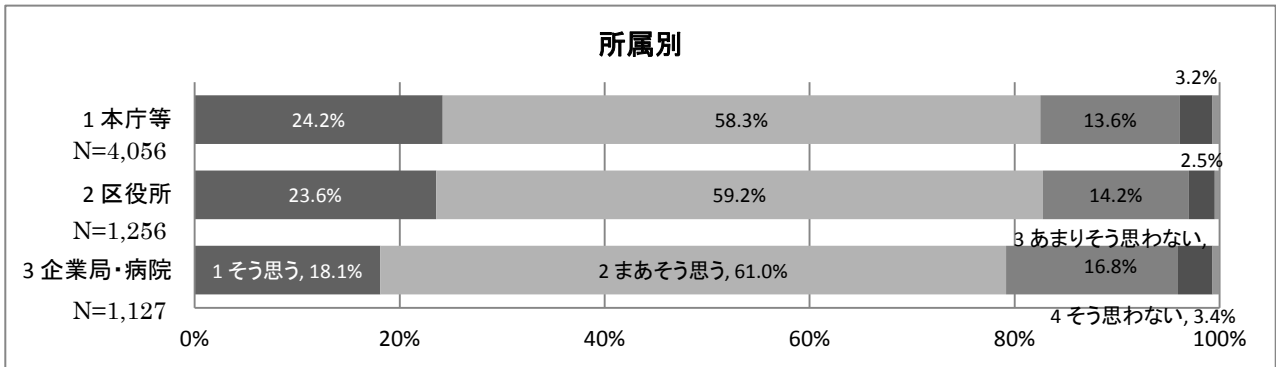
任用形態別では、各任用形態とも否定的回答が相当割合あり、【正職員・再任用】で16.4%、【臨時的任用職員】で22.5%、【非常勤嘱託職員】で20.1%が否定的回答であった。



【正職員・再任用】について職階別に見ると、職階が上がるほど肯定的回答をした職員の割合が高くなっており、否定的回答をした職員の割合は、【係長職】で14.6%、【一般職】で18.1%となっている。

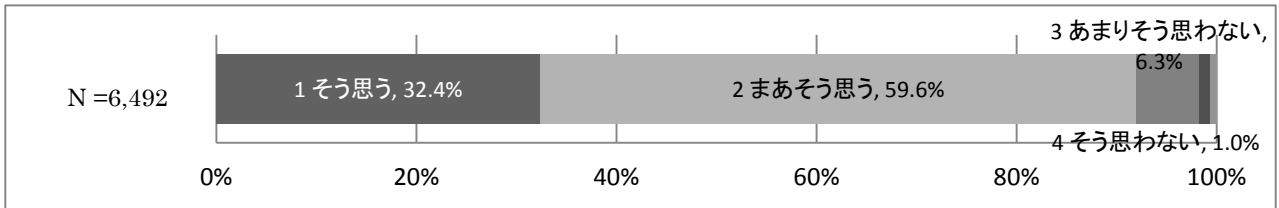


年齢層別では、各年齢層とも1割以上の職員が否定的回答をしており、【40歳代~60歳代】でやや割合が高くなっている。

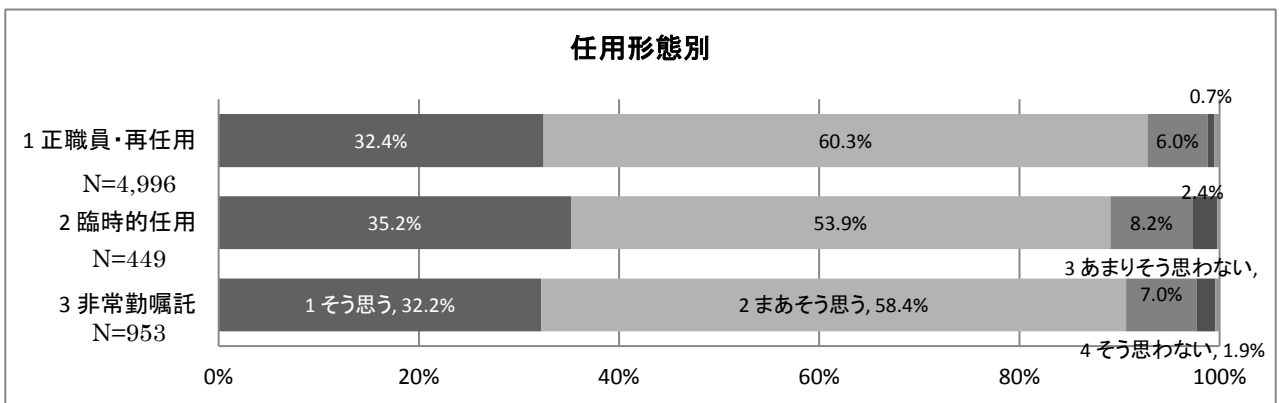


所属別では、各所属とも15%以上の職員が否定的回答をしており、区役所と企業局・病院でやや割合が高くなっている。

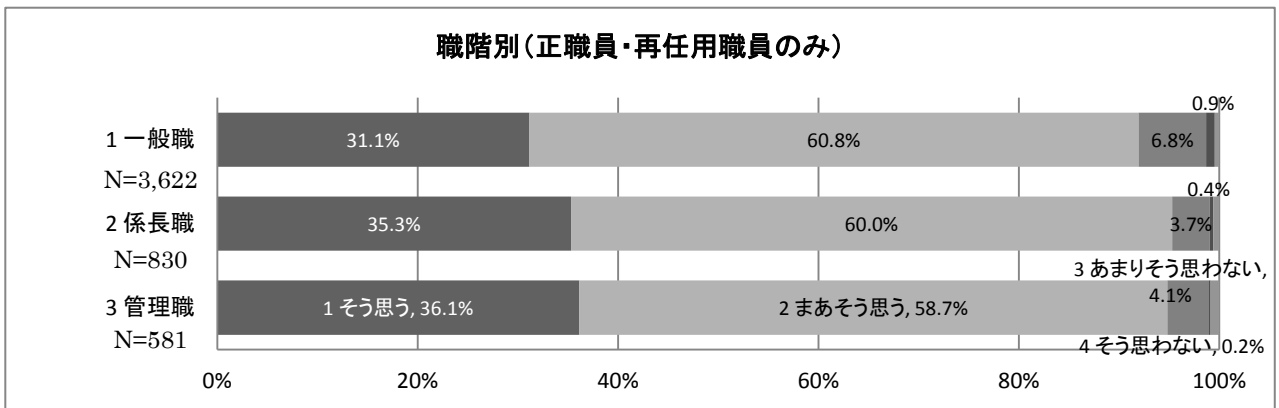
Q22 あなたは自分の仕事について、上司に適切に報告・連絡・相談ができていると思いますか？



全体では、「まあそう思う」(59.6%)が最も多く、「そう思う」(32.4%)と合わせた92.0%の職員が、肯定的回答であった。

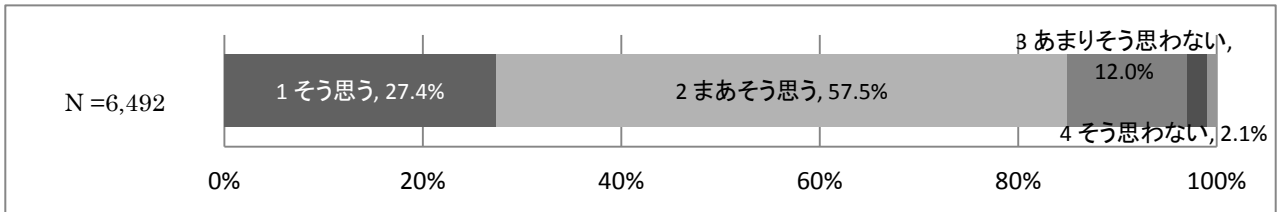


任用形態別では、各任用形態とも約9割が肯定的回答をしているが、【臨時的任用職員】では否定的回答が10.6%と、やや高くなっている。



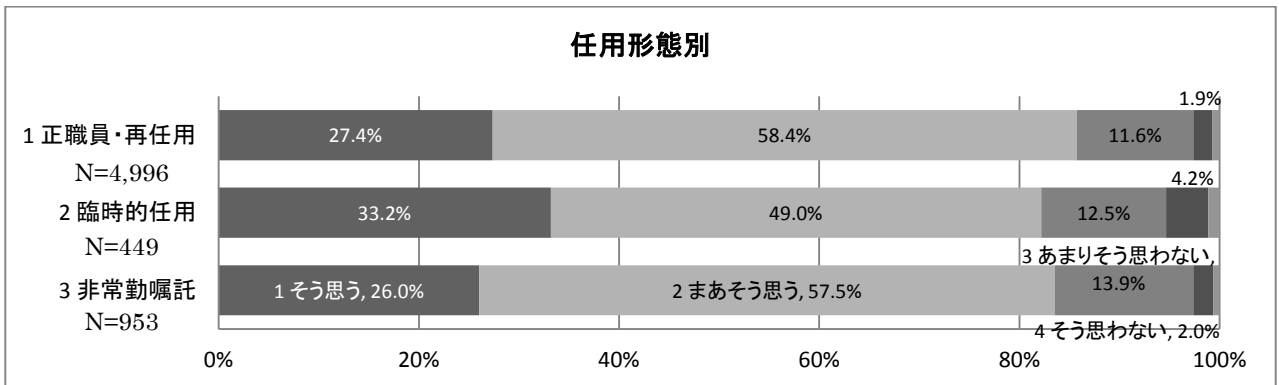
【正職員・再任用】について職階別に見ると、各職階とも9割を大きく超える職員が肯定的回答をしている。

Q23 あなたは自分の仕事について、上司から適切に確認を受けていると思いますか？

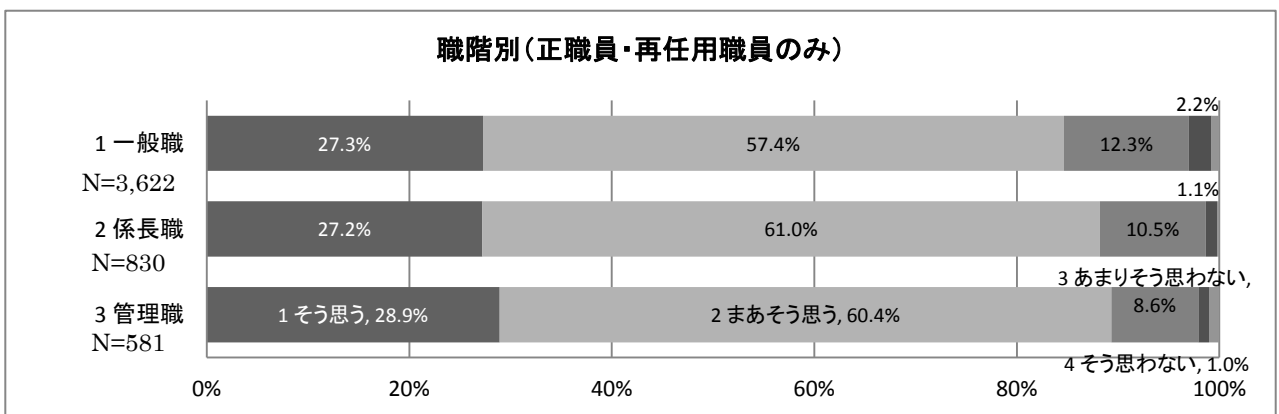


全体では、「まあそう思う」(57.5%)が最も多く、「そう思う」(27.4%)と合わせた84.9%の職員が、自分の仕事について上司から適切に確認を受けていると思っているという結果であった。

一方で、「あまりそう思わない」(12.0%)と「そう思わない」(2.1%)を合わせた14.1%の職員は、自分の仕事について上司から適切に確認を受けているとは思っていないという結果であった。

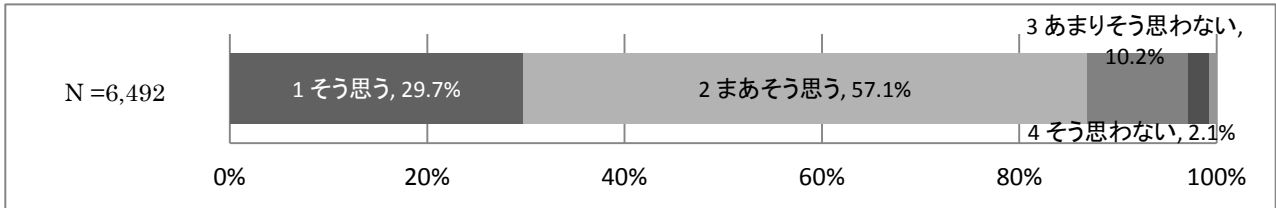


任用形態別では、各任用形態とも1割以上の職員が否定的回答をしており、【臨時的任用職員】では16.7%が、【非常勤嘱託職員】では15.9%が否定的回答であった。



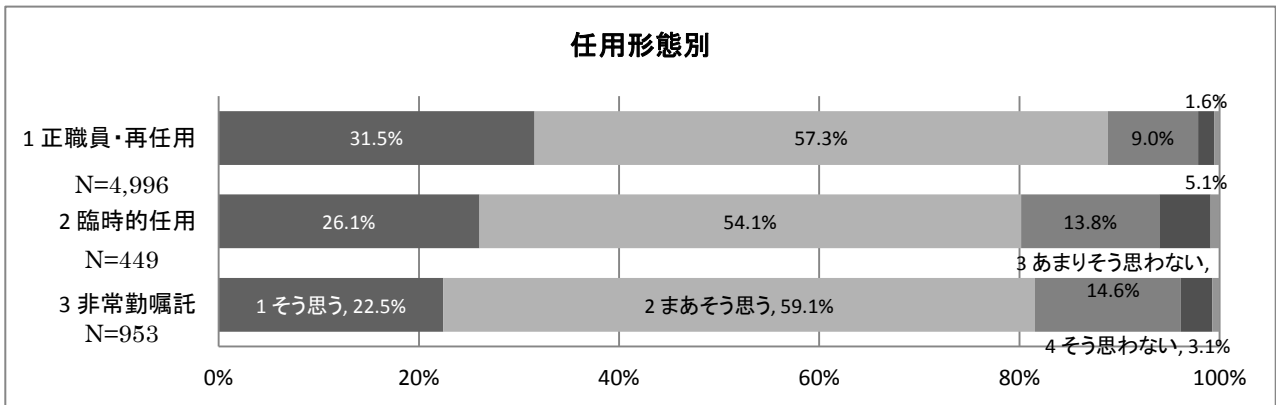
【正職員・再任用】について職階別に見ると、職階が上がるほど肯定的回答をした職員の割合が高くなっている。否定的回答は、【係長職】では11.6%、【一般職】では14.5%であった。

Q24 あなたは、上司からの指示に疑問を感じた時に、質問したり意見を言ったりすることはできますか？

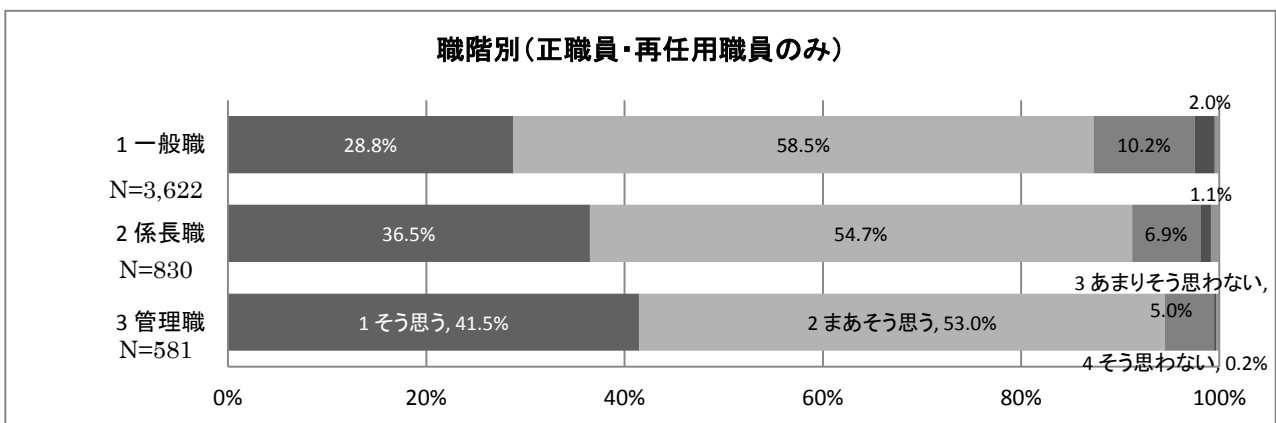


全体では、「まあそう思う」（57.1%）が最も多く、「そう思う」（29.7%）と合わせた 86.8%の職員が、上司からの指示に疑問を感じた時に質問したり意見を言ったりすることができると思っているという結果であった。

一方で、「あまりそう思わない」（10.2%）と「そう思わない」（2.1%）を合わせた 12.3%の職員は、上司からの指示に疑問を感じた時に質問したり意見を言ったりすることはできるとは思っていないという結果であった。

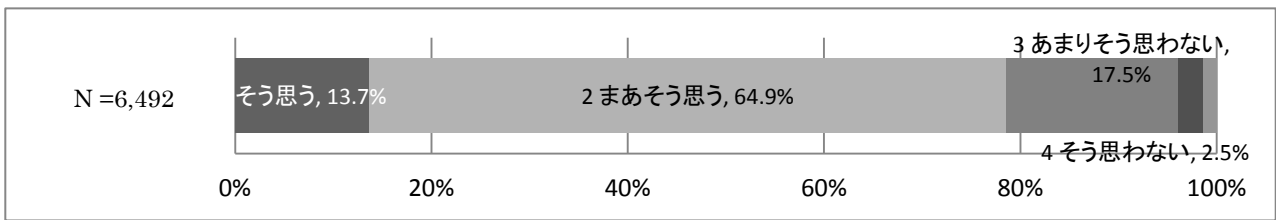


任用形態別では、各任用形態とも 1 割以上の職員が否定的回答をしており、【臨時的任用職員】では 18.9%が、【非常勤嘱託職員】では 17.7%が、否定的回答であった。



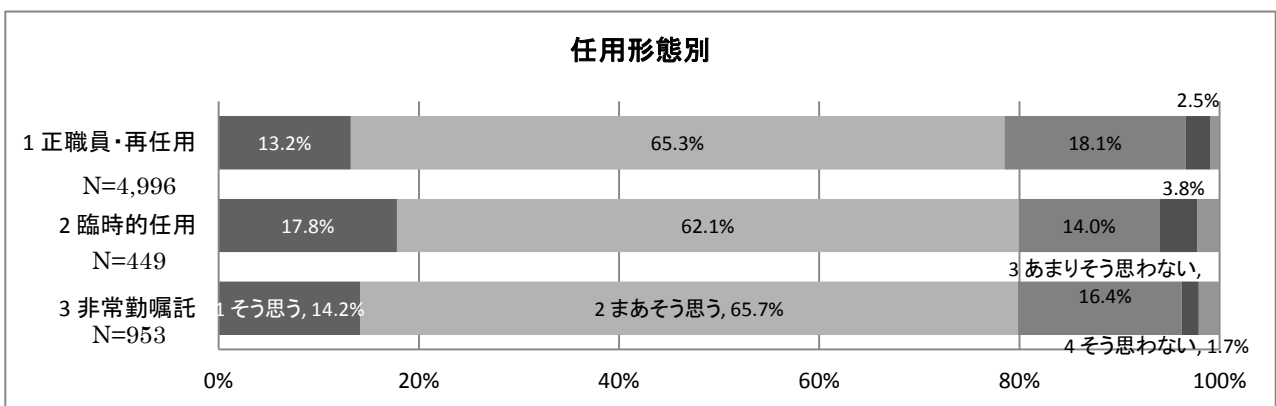
【正職員・再任用】について職階別に見ると、職階が上がるほど肯定的回答をした職員の割合が高くなっている。否定的回答は、【一般職】では 12.4%であった。

Q25 あなたの職場では、関係部署との連携はうまくいっていると思いますか？

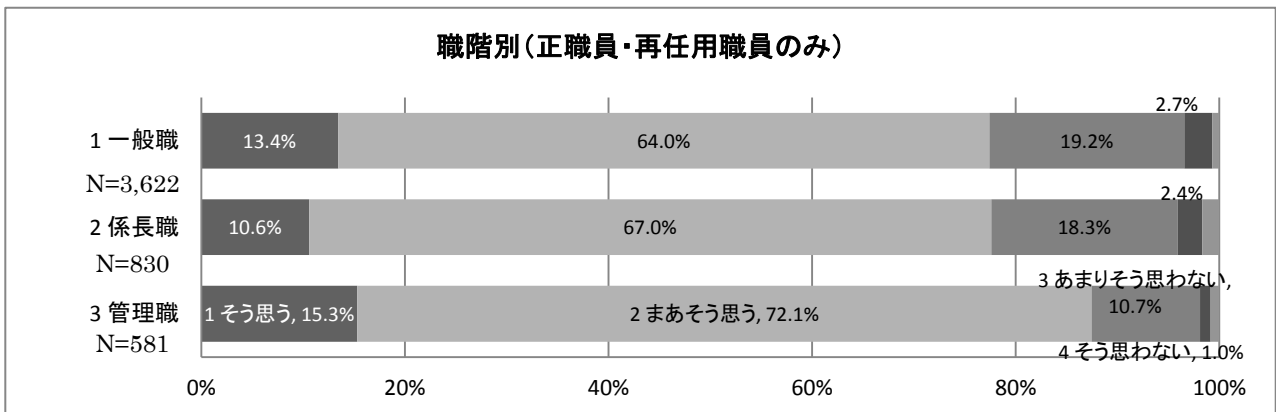


全体では、「まあそう思う」（64.9％）が最も多く、「そう思う」（13.7％）と合わせた 78.6％の職員が、自分の職場では関係部署との連携がうまくいっていると思っているという結果であった。

一方で、「あまりそう思わない」（17.5％）と「そう思わない」（2.5％）を合わせた 20.0％の職員は、自分の職場では関係部署との連携がうまくいっているとは思っていないという結果であった。

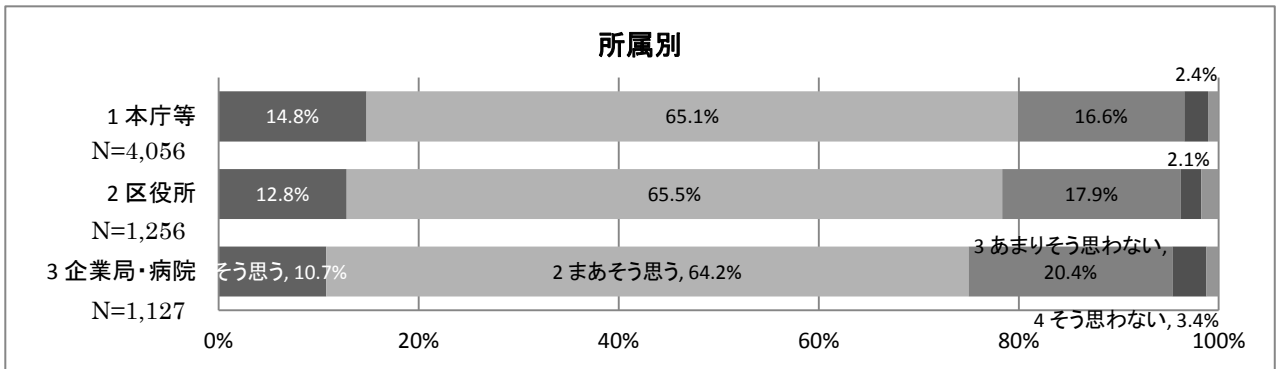


任用形態別では、各任用形態とも否定的回答は相当割合にのぼり、【正職員・再任用】では 20.6％、【臨時的任用職員】では 17.8％、【非常勤嘱託職員】では 18.1％が否定的回答であった。

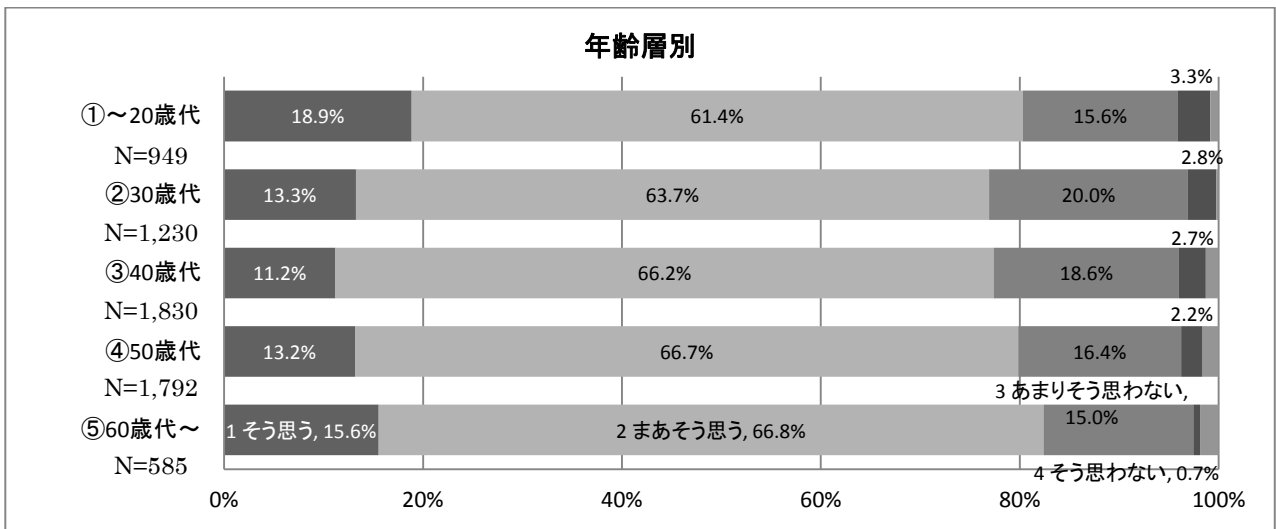


【正職員・再任用】について職階別に見ると、【一般職】では 21.9％、【係長職】では 20.7％と、2割を超える職員が否定的回答であった。

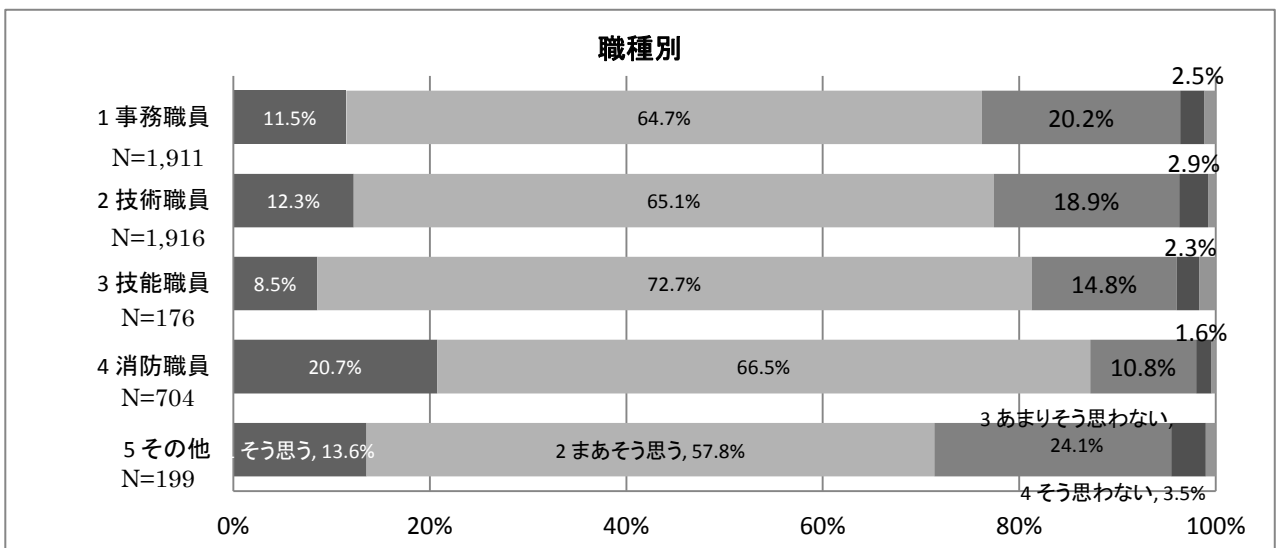
管理職では、否定的回答の割合は相対的に低いものの、11.7％の職員が否定的回答であった。



所属別では、各所属とも 2 割前後の職員が否定的回答をしており、【区役所】と【企業局・病院】でやや高くなっている。

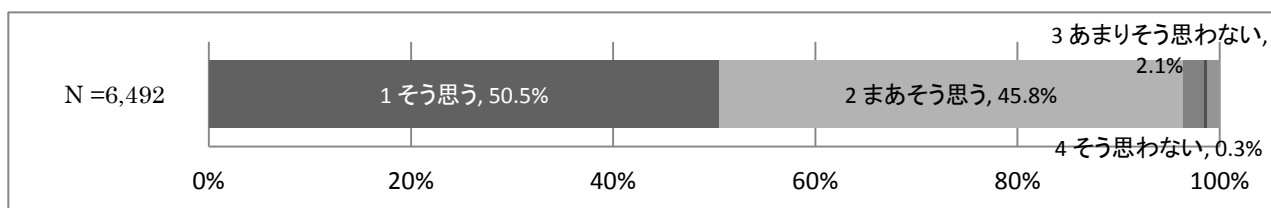


年齢層別では、【20 歳代以下~50 歳代】の各年齢層とも 2 割前後の職員が否定的回答をしており、【30 歳代~40 歳代】でやや高くなっている。

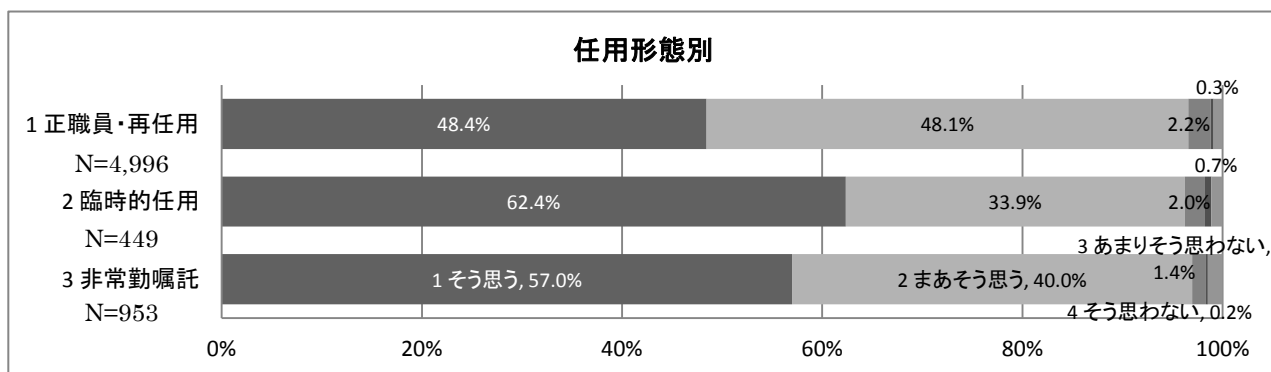


職種別では、消防職員以外の職種で否定的回答が相対的に高くなっている。

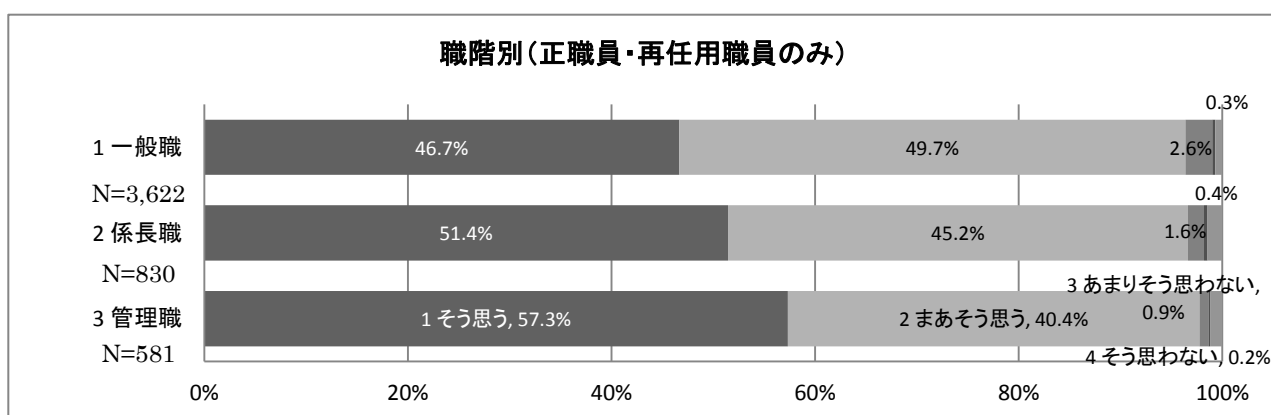
Q26 あなたは仮に自分がミスをした場合に、速やかに上司に報告ができると思いますか？



全体では、「そう思う」(50.5%)が最も多く、「まあそう思う」(45.8%)と合わせた96.3%の職員が、仮に自分がミスをした場合に速やかに上司に報告ができると思っているという回答であり、高水準な結果であった。

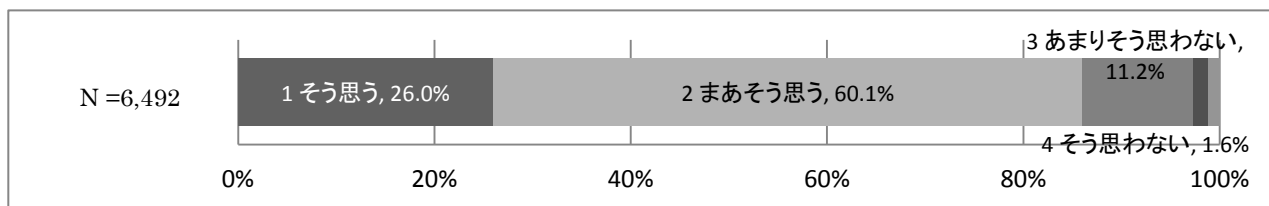


任用形態別で、大きな差は見られず、各任用形態とも高い水準であった。



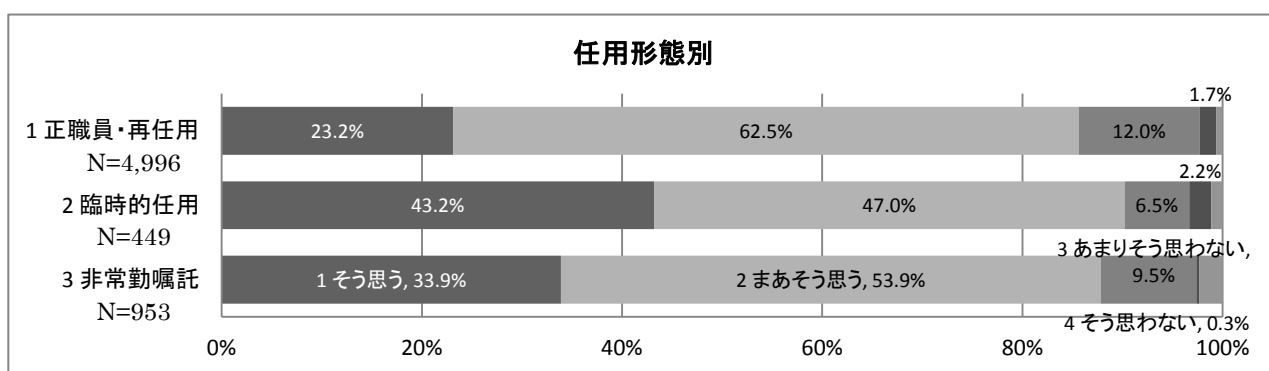
【正職員・再任用】について職階別に見ると、各職階とも高い水準であった。

Q27 あなたの職場では、ダブルチェックの実施や手順書の整備など、ミスを防止する仕組みが整っていると思いますか？

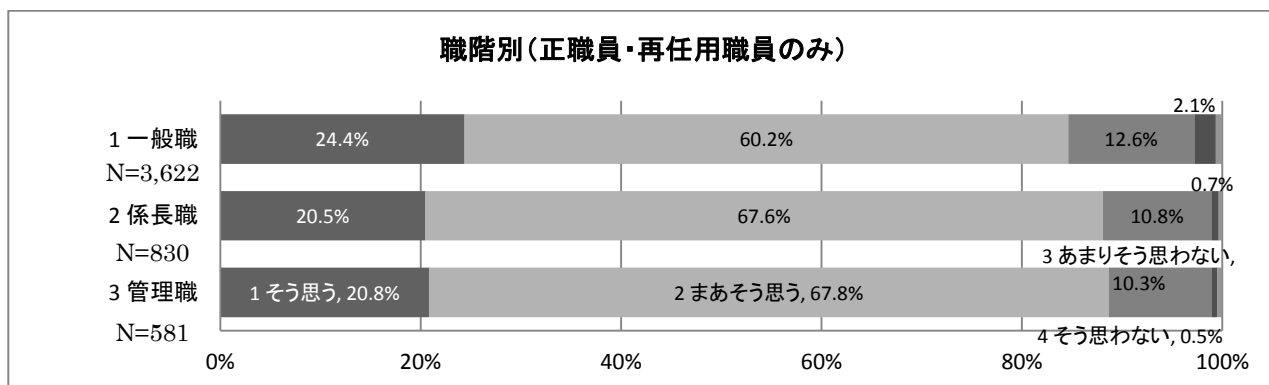


全体では、「まあそう思う」(60.1%)が最も多く、「そう思う」(26.0%)と合わせた86.1%の職員が、自分の職場ではミスを防止する仕組みが整っていると思っているという結果であった。

一方で、「あまりそう思わない」(11.2%)と「そう思わない」(1.6%)を合わせた12.8%の職員は、自分の職場ではミスを防止する仕組みが整っているとは思っていないという結果であった。



任用形態別では、【正職員・再任用】で13.7%の職員が否定的回答をしており、他の任用形態よりも高くなっている。



【正職員・再任用】について職階別に見ると、【一般職】で否定的回答の割合が14.7%と相対的に高くなっているほか、【係長職】で11.5%、【管理職】で10.8%と、否定的回答の割合が1割を超えている。

Q18～27 組織風土

Q18	あなたの職場は、仕事に対する意欲が高いと思いますか？	27.1%	56.7%	13.4%	2.1%	★
Q19	あなたの職場は、お互いに意見を言い合うことができる職場ですか？	26.4%	56.0%	14.0%	2.8%	★
Q21	あなたの職場は、仕事上の悩みや課題を相談しやすい職場ですか？	23.0%	58.8%	14.4%	3.1%	★
Q22	あなたは自分の仕事について、上司に適切に報告・連絡・相談ができていると思いますか？	32.4%	59.6%	6.3%	1.0%	
Q23	あなたは自分の仕事について、上司から適切に確認を受けていると思いますか？	27.4%	57.5%	12.0%	2.1%	★
Q24	あなたは、上司からの指示に疑問を感じた時に、質問したり意見を言ったりすることはできますか？	29.7%	57.1%	10.2%	2.1%	★
Q25	あなたの職場では、関係部署との連携はうまくいっていると思いますか？	13.7%	64.9%	17.5%	2.5%	★
Q26	あなたは仮に自分がミスをした場合に、速やかに上司に報告ができると思いますか？	50.5%	45.8%	2.1%	0.3%	
Q27	あなたの職場では、ダブルチェックの実施や手順書の整備など、ミスを防止する仕組みが整っていると思いますか？	26.0%	60.1%	11.2%	1.6%	★

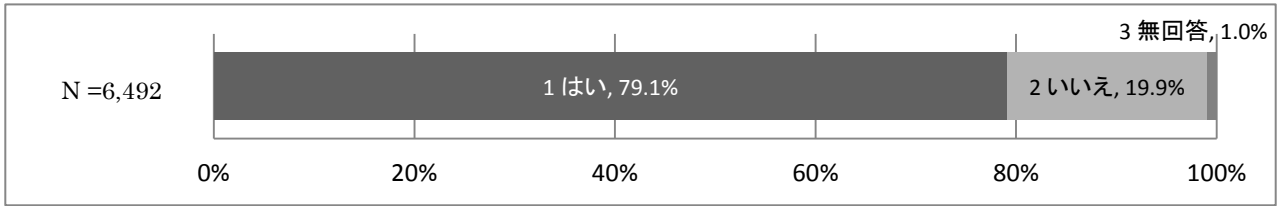
上のグラフは、組織風土についての設問 Q18・19 と Q21～Q27 について集約したものである。多くの項目で否定的回答が 1 割以上となっている。

職場の風通しに関する設問である Q19（お互いに意見を言い合うことができる職場か）、Q21（仕事上の悩みや課題を相談しやすい職場か）について、否定的回答が 15%以上となっている。

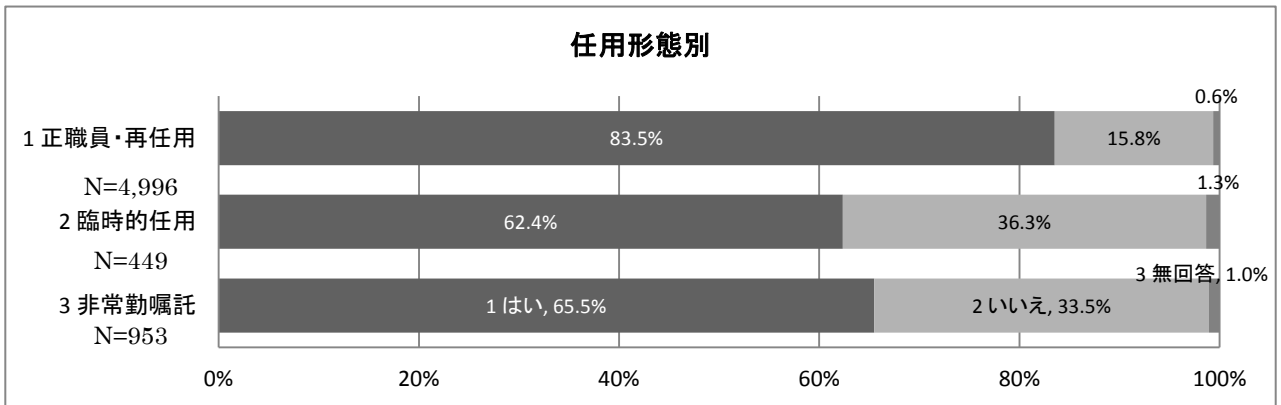
また、事務ミスの発生・拡大防止に関する設問である Q22（自分の仕事についての上司への適切な報告・連絡・相談）、Q26（仮にミスをした場合の速やかな上司への報告）については、良好な結果となっている一方、適正な事務処理の実践に関する設問である Q23（自分の仕事に対する上司からの適切な確認）、Q24（上司からの指示に疑問を感じた時の質問・意見）、Q27（ダブルチェック・手順書整備などミス防止の仕組み整備）については、否定的回答が相当割合あった。

(4) 仙台市職員相談・通報窓口の認知度 (Q28)

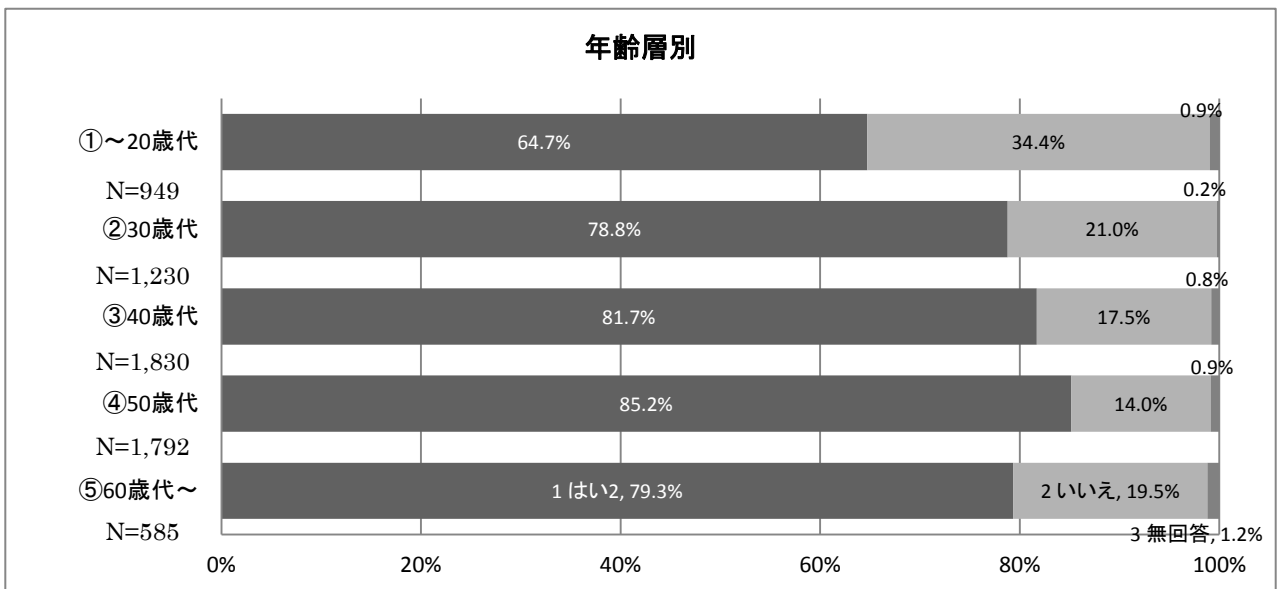
Q28 あなたは仙台市職員相談・通報窓口を知っていますか？



全体では、79.1%の職員が、仙台市職員相談・通報窓口を知っているという結果であった。一方で、19.9%の職員は、仙台市職員相談・通報窓口を知らないとの回答であった。

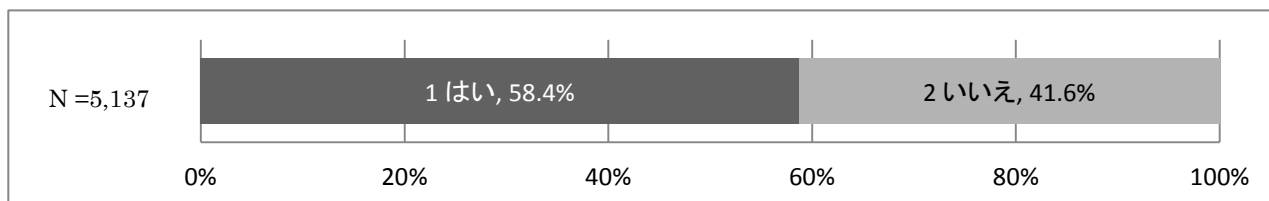


任用形態別では、【臨時的任用職員】で「はい」と回答した職員の割合が62.4%、同じく【非常勤嘱託職員】では65.5%と低くなっている。

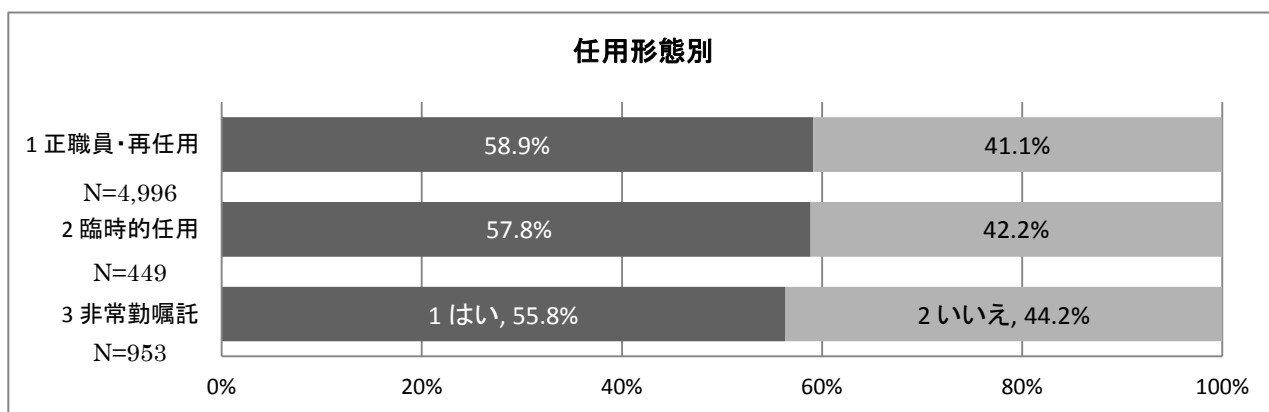


年齢別では、【20歳代以下】で、「はい」と回答した職員の割合が64.7%と低くなっている。

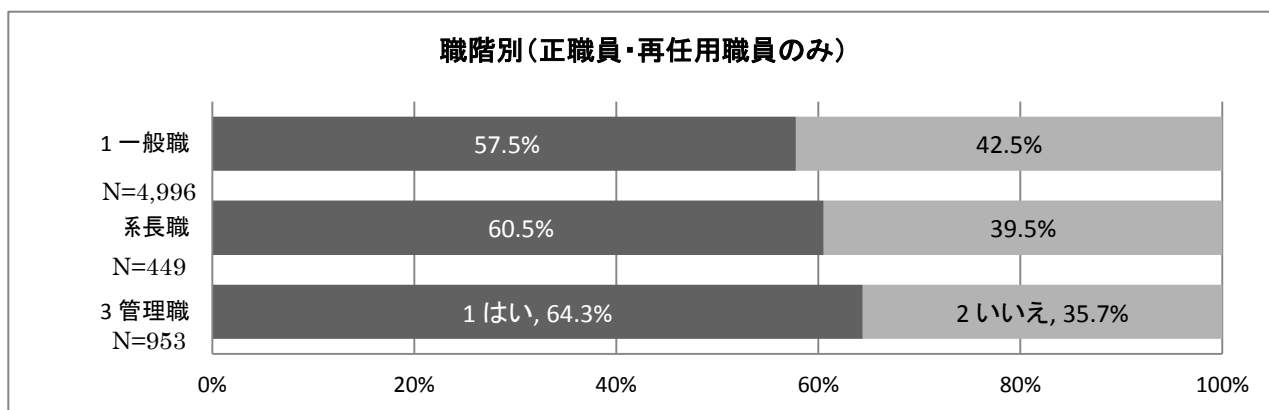
Q29 (Q28で「はい」と回答した人のみ) あなたは、職場内における不正等の通報対象事実を発見した場合に、この窓口にご相談又は通報をしたいと思いますか？



仙台市職員相談・通報窓口を知っている職員 (N=5,137) のうち、58.4%の職員が、職場内における不正等の通報対象事実を発見した場合にこの窓口にご相談又は通報をすると思うという結果であった。

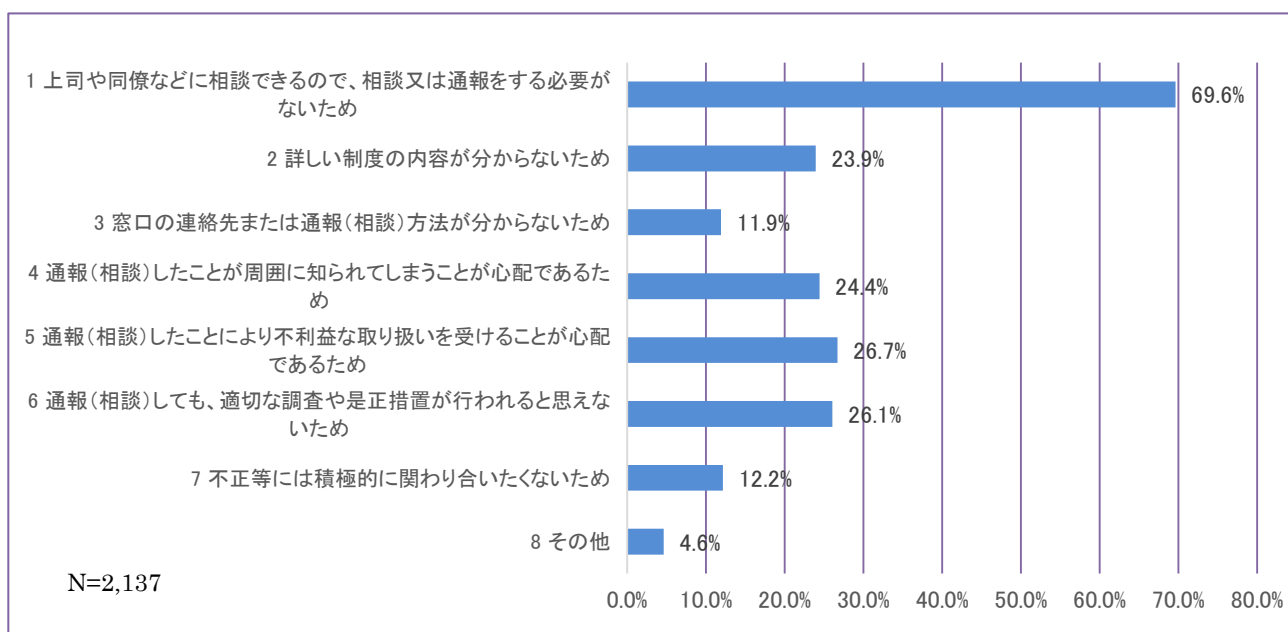


任用形態別では、各任用形態とも6割弱の職員が「はい」と回答した。



【正職員・再任用】について職階別に見ると、職階が上がるほど「はい」と回答する職員の割合が高くなっている。

Q30 (Q29で「いいえ」と回答した人のみ) この窓口で相談又は通報をしないと思う理由を選択してください。【複数回答可】



職場内における不平等の通報対象事実を発見した場合に、この窓口で相談又は通報をしないと思うと回答した職員 (N=2,137) について、最も多い理由は「上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報をする必要がない」(69.6%)であり、次いで「通報(相談)したことにより不利益な取り扱いを受けることが心配であるため」(26.7%)、「通報(相談)しても、適切な調査や是正措置が行われると思えないため」(26.1%)、「通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であるため」(24.4%)、「詳しい制度の内容が分からないため」(23.9%)という結果であった。

「その他」(4.6%)では、まず上司等へ相談してから判断すると思うため、直接自ら又は誰かに相談して解決を試みるため、ケースによって判断するため、などの記載があった。